

アルファカルシドール供給不足に伴う副甲状腺機能低下症、偽性副甲状腺機能低下症、およびくる病・骨軟化症患者への対応について(第二報)

アルファカルシドールの供給状況の見通しにつき、お知らせいたします。

アルファカルシドールは骨粗鬆症患者さんに対する使用量が最も多いことから、副甲状腺機能低下症や偽性副甲状腺機能低下症、くる病・骨軟化症患者さんへの供給量を確保するために、日本骨代謝学会、日本骨粗鬆症学会から「骨粗鬆症患者さんへのアルファカルシドール使用に関する提言」が発出されました。その後関係各位の御尽力により、シェア最大の製薬会社である共和薬品工業からのアルファカルシドールの出荷が、2021年9月中旬には再開される予定となりました。これにより、2021年9月中には共和薬品工業からのアルファカルシドールの出荷量は前年比で約50%に、2021年10月中には60%以上に回復する見通しとなっています。

現状でアルファカルシドールの供給に支障がある場合には、錠剤からソフトカプセルへの剤型変更や規格変更を御検討いただき、現存の薬剤を有効活用していただく他、長期処方避けるなど、今しばらくの御協力をお願い申し上げます。なお、成分としてのアルファカルシドールが入手困難な場合は、カルシトリオールへの変更なども併せて御検討いただけますようお願いいたします。

2021年8月31日

日本骨代謝学会

日本内分泌外科学会

日本小児内分泌学会

日本内分泌学会